

平成21年2月27日

連絡先 総務部 予算調整室

電話 (059)224 - 2216

平成20年度 最終補正予算について

今回の補正予算は、県税収入などの歳入の増減、国庫支出金の額の確定に伴い事業費に増減が生じた事業などについて、それぞれ所要の措置を講じるものです。

【最終補正後の予算規模】

(単位:千円、%)

	19年度最終 予算額	20年度現計 予算額	最終補正額	補正後累計	伸び率	
					/	/
一般会計	686,544,011	744,813,998	9,526,647	735,287,351	7.1	1.3
特別会計	24,040,931	26,117,665	3,312,284	22,805,381	5.1	12.7
企業会計	64,259,612	69,417,114	1,105,320	68,311,794	6.3	1.6
合計	774,844,554	840,348,777	13,944,251	826,404,526	6.7	1.7

一般会計の内容

9,526,647千円

1 歳入の主要点

(1) 県税

3,446,000 千円

県税について、法人事業税で2,422,000千円の減額、法人県民税で913,000千円の減額、個人県民税で1,807,000千円の減額、地方消費税で1,504,000千円の増額など、あわせて3,446,000千円を減額補正する。

(2) 国庫支出金

1,816,158 千円

国庫支出金については、公共事業関係で1,307,597千円の減額、特定疾患治療費補助金で464,970千円の減額など、あわせて1,816,158千円を減額補正する。

(3) 県債

1,797,000 千円

県債については、法人事業税、法人県民税等の減収を補てんするための減収補てん債で3,600,000千円の増額、退職手当債で2,300,000千円の減額、公共事業関係で2,486,000千円の減額など、あわせて1,797,000千円を減額補正する。

- (4) 繰入金 2,107,758 千円
繰入金については、財政調整基金で2,155,579千円を繰り戻すなど、あわせて2,107,758千円を減額補正する。

2 歳出の主要点

- (1) 公共事業等 2,886,166 千円
直轄事業 514,954 千円
国の内示等により、河川事業で477,421千円の減額を行うなど、あわせて514,954千円を減額補正する。

県単公共事業 680,793 千円
事業計画の変更等に伴い、道路事業で469,085千円を減額するなど、あわせて680,793千円を減額補正する。

災害復旧事業 1,428,747 千円
過年災害の額の確定及び現年(平成20年度)災害復旧事業費の確定に伴う、平成21年度施工事業の確定に伴い、1,428,747千円を減額補正する。

- (2) 人件費 2,376,420 千円
人件費については、職員の退職手当を早期退職者数の見込み精査等に伴い、2,227,384千円減額するなど、あわせて2,376,420千円を減額補正する。

- (3) 株式等譲渡所得割交付金 584,831 千円
株式等譲渡所得割(個人県民税)の減収に伴い、県内市町への交付金について、株式等譲渡所得割交付金を、584,831千円減額補正する。

特別会計

3,312,284千円

歳出の主要点

- 1 流域下水道事業特別会計 2,767,622 千円
事業計画の変更等による公共事業の減額等に伴い、2,767,622千円を減額補正する。

企業会計	1,105,320千円
------	-------------

歳出の主要点

1 水道事業会計

644,796 千円

業務設備及び改良費等の減額などにより、644,796 千円を減額補正する。

2 工業用水道事業会計

360,884 千円

北伊勢工業用水道改良費等の減額などにより、360,884 千円を減額補正する。